

授 業 目 名	作業療法評価学I	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1 年(前期)
担 当 教 員 名	前谷 一旗、木村 公亮	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	[授業概要] 評価の概念と基本的・一般的な評価法を学習する。 また、障害像の把握に必要な評価技術の方法について学習する。 [学習目標] 評価の目的、方法、留意点について理解する		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	作業療法と評価	[前谷]	
第 2 回	領域共通の評価法①(意識の評価・バイタルサインの測定)	[前谷]	
第 3 回	領域共通の評価法②(形態計測)	[前谷]	
第 4 回	領域共通の評価法③(関節可動域測定)	[前谷]	
第 5 回	領域共通の評価法④(筋力検査)	[前谷]	
第 6 回	領域共通の評価法⑤(感覚検査)	[前谷]	
第 7 回	領域共通の評価法⑥(反射検査・協調性検査)	[前谷]	
第 8 回	領域共通の評価法⑦(姿勢反射検査)	[前谷]	
第 9 回	領域共通の評価法⑧(筋緊張検査)	[前谷]	
第 10 回	身体機能評価法(片麻痺運動機能評価)	[前谷]	
第 11 回	領域共通の評価法⑨(摂食嚥下)	[木村]	
第 12 回	画像情報の利用方法	[木村]	
第 13 回	認知機能評価①(記憶・注意障害)	[木村]	
第 14 回	認知機能評価②(遂行機能障害)	[木村]	
第 15 回	認知機能評価③(知的機能)	[木村]	
評 価 方 法	小テスト(20%)、筆記試験(80%)		
教 科 書 参 考 図 書	[教科書] 理学療法学・作業療法学 作業療法評価学 (医学書院) 新・徒手筋力検査法 (協同医書出版社)		
履 修 上 の 留 意 点	出席が必須条件で授業を進めます。		
メ ッ セ ー ジ	評価は訓練や目的を立案する上でも重要な科目となります。臨床実習でも必ず必要になってくる科目ですので1年時に評価の礎をしっかりと築いて下さい。		